

平成29年1月14日

1月 クラブ新年総会議事録

1. 集会日 平成29年1月12日(木) 19時00分～21時30分
2. 出席者 池田会長、宮川、宮内、裏野、山下、野木井、坂口、西橋、山下海
大畑、畑中、坂本(記) 12名出席

3. 議事

(1) 会長挨拶

- ・昨年1年、皆さんの努力により事故も無く無事に釣行を行えた事に感謝する。私自身は腰痛との戦いで、殆んど釣に行く事が出来ず残念な年であったが、本年は少しでも皆さんと一緒に楽しい釣りが出来るよう頑張っていきたいと思っているので宜しくお願いする。

(2) 平成28年 年間賞の表彰について

- ・昨年度年間得点成績上位7名および月例会優勝者、年間魚種賞(Bランク以上)獲得者について、クラブ規約に基づき表彰が行われた。昨年は3魚種でクラブ記録が更新された。

(3) 本年のクラブ年間行事について

- ・連盟、協会の年間行事が決定したため、クラブの年間行事を協議し決定した。
- ・8月例会は、事故防止講習会を例会とし、終了後に懇親会を開催する。
- ・9月例会は、連休を利用して遠征(四国愛媛方面)例会を計画する事とした。

(4) 昨年の会計報告について

- ・昨年1年間のクラブ会計について坂本会計より報告が行われ、1月8日に会計監査を行い会計報告に相違がない事を確認した旨、宮内、野木井両監査員より報告された。

(5) 役員改選について

- ・本年のクラブ役員について協議を行ない、昨年と同様の役員が推薦され出席者全員の賛成で決議された。

(6) 12月協会理事会の報告(坂本より)

◎連盟理事会報告

○全日本カレイについて

総参加24協会、182クラブ、1294名(実参加1068名)で開催された。

我がクラブでは、坂本氏が他魚で17位に入賞。山下氏、畑中氏がラッキー賞を受賞した。

○連盟運営費の抑制対策について

- ・連盟会議の交通費削減について、基本全額支給とするが各協会をブロックにまとめブロックの代表者が会議に出席する事とする。

○各協会提出議案について

○備後協会

- ・会報の削減・・・・・・広告収入が減となるので現行通りとする。
- ・投げ釣り手帳の廃止・・すでに廃止が決定済み。

○大分協会

- ・九州OPSC大会を日本記録認定大会にする・・日本記録認定は全日本大会のみとする。
- ・対象魚にメジナを追加する・・他魚の追加要望もあり継続審議する。

○中部協会

- ・全日本キス審査を10時~にする・・全日本行事なので現行のままとする。

○宮城協会

- ・全キスとメーカーの大会が重複した場合のキス選参加費返納について・・現行のまま。

・連盟会長選挙の廃止・・・現行通りとする。

○大阪協会

- ・認定スケールの材質変更・・・ステンレス製はあるが、写真のフラッシュに反射して写真が撮りにくく、価格も高価（5000円）となる。
- ・事業報告書をHPに掲載する・・・閲覧希望者には配布する。
- ・大物還付金の増額（8%に）・・・全申請枚数が2万件あれば可能であるが、2万件以下となれば無理である。（H28は、約1万8千枚）

○兵庫協会

- ・大物バッジ保管ケースを1号より配布・・・承認。

○企画部

- ・筏での釣を容認・・・現在、浮き棧橋の定義が不明瞭であり、継続して審議する。
- ・ホシギス、モトキスを対象魚に追加する・・・継続審議する。

◎日本新記録の認定について

イシダイ 実寸 65.0cm 拓寸 67.8cm 呉サーフ 大畑氏

◎協会理事会報告

○全日本カレイPJ報告（上野氏）

- ・各釣場責任者から送られて来る結果報告に間違いが多く、集計に苦勞した。
スズキの大物を釣った方の審査表が無くなっていた。（大物認定書は発行されていた）
また、欠席している人の審査カードがラッキー賞に投函されていた等。

○大物名人戦結果報告

- ・雨天の中、39名が参加（審査カード提出17名）して開催された。参加者にはTシャツと参加ステッカーが配布された。

○大阪・兵庫合同納竿大会報告

- ・天候に恵まれ好天の中、298名（大阪172名、兵庫126名）の参加で開催された。大阪協会員の成績が良く1位と3位に入賞。他魚でも2位と3位に入賞した。

○初釣り大会要項について

- ・PJの滋賀投友会より、昨年度と同様の要綱で行う旨の報告があった。参加申し込みは、1月理事会にて締め切る。

※ 2月集会 2月2日（木） 予定

以 上